

ふるさと創生大滝温泉蘇生事業

『湯夢湯夢の里』建設順調に進展

大滝温泉の新しい顔として、レジャー、温泉保養基地の整備を図り、地域の活性化につなげることをねらいに始めた「ふるさと創生大滝温泉蘇生事業」。市が昨年からは着手している湯夢湯夢の里の建設のうち、ふるさと広場や公衆浴場が完成しています。今年度計画している休憩所建設や温水プール第二期工事などは、現在予定どおり進展しています。

工事の概要

湯夢湯夢の里は、ふるさと創生大滝温泉蘇生事業全体計画のうち、市が平成二年度から四年度までの三カ年の計画で建設を進めています。総事業費は約二十億五千万円で、ふるさと広場、公衆浴場、大滝、カリヨン、休憩所、温水プールなどを整備するものです。

ふるさと広場や公衆浴場、大滝、カリヨンは昨年度に完成し、皆さんに利用されています。今年度は、休憩所、修景施設(桜の植栽)、露天風呂などの建設や、温水プール第二期工事(建物工事)を計画しています。四月から着手している修景施設は六月に完成していますし、休憩所は九月、露天風呂は来年三月に完

成する予定です。来年度は温水プール第三期工事(プールや内装工事)、駐車場整備などの工事を行い、湯夢湯夢の里は完成する予定です。

年中利用できる 温水プール

今年度第二期工事に着手している温水プールは、完成すると次のような施設になります。建物の中には、高さ五メートル・長さ五十四メートルのウォータースライダーが三レーン、直径三十五メートルの円周に幅約五メートルの流水プール、五コースとれる二十五メートルの幼児用プール、児童用プールのほかに事務室やロッカーなどが設けられます。屋内施設ですので、年間を通した利用が可能になります。

湯夢湯夢の里完成予想図



市長リポート



No. 4

間伐材の利用

大館は、秋田杉の産地として全国に知られています。その秋田杉を利用した産業は、市の主要産業の一つとなっています。ところが、良い木を育てるための山の手入れはというと、多くの費用がかかるためなかなかできない状況です。そこで、間伐材の利用を考えてみたらどうでしょうか。間伐材はいろいろ加工することによって利用価値が高まりますので、山の手入れが十分できる収入を生むことにつながると思います。

市としては、公共工事や公共建築物などに間伐材を積極的に使用していきたいと考えています。そのためには、木材業界でもより幅広い利用方法を考えていただきたいと思います。

市全域が手入れされた秋田杉の美林で囲まれるように、また後世にすばらしい山を残すためにも、間伐材の利用は、積極的に進めていくことが必要ではないでしょうか。

小畑 元